



縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.18
令和3年2月3日
文責 校長 吉尾直樹

大島中学校のバトンを受け継ぎました

1月8日 生徒会役員任命式・引継ぎ式



生徒会役員の任命式では、新たなスタートにあたって校長から次の話をしました。「生徒会活動の目標は、簡単に言うと、この大島中をよりよくしていくために、全校生徒で分担し、協力して取り組むことを経験し、将来、いろいろな集団の中で力を発揮できるようにするという事です。みなさんは、多くの行事を行う場合、それぞれが何役も持って集団を動かしています。この時の成功や失敗の経験が、これから集団に関わる力を伸ばしているのです。

今回、任命状を渡した生徒会役員は、まさに自主的、自律的に学校が動くための要であり、よりよい大島中にしようという思いは、選挙期間中の演説から強く伝わってきました。思いをもう一度振り返り、わかりやすい目標を掲げて、生徒会活動を進めてください。



その際に、必ず忘れてならないのは、自分が動くだけでなく、周りをどのように動かすか、巻き込むかという視点です。生徒会活動は、役員だけが行うものではなく、みんなで分担・協力して集団で動くことが大切。常にその必要性や目的を会員全体に伝え、全体の意識を高めていきましょう。また、効果がないと考えたときには、すっぱりとやめてしまうことも大切。新たに始めることよりも、やめることの方が難しいものです。なぜ、それをするのかを常に、自分自身に、そして学校全体に問いましょう。

3年生、現役員のみなさん、今までこの大島中の先頭に立ち、みんなを引っ張ってくれてありがとう。みなさんの姿はいつも、後輩たちから頼もしく見えていました。きっと後輩たちは、みなさんと同じく、この大島中を輝かせてくれるものと思います。その活躍を楽しみにしていきましょう。

1・2年生、新役員のみなさん、みなさんが思い描く大島中学校に近づく道は、さまざまです。時には向かい風に右に行ったり左に行ったりするかもしれません。恐れず、たゆまず一歩ずつ前に進みましょう。あなたの周りにいる仲間を信じて。阿立さんが公約で掲げた「一人一人の個性をみんなで共有できる学校」になるために、新しい生徒会がどのような取り組みを行うか、これからが楽しみです。」

その後の引継ぎ式では、旧役員から新役員へのファイルや校旗を引継ぎ、旧役員一人ひとりから後輩たちへ、この大島中を託す気持ちと今までの感謝の思いが渡されました。いよいよ、2年生、1年生による大島中学校がスタートしました。

チーム大島の笑顔をよくの方に

2月2日 リズムダンス横断幕設置



リズムダンスふれあいコンクール文部科学大臣賞受賞を記念して、平戸市から平戸港ターミナルに横断幕を設置していただきました。1月後半に届いた賞状と一人ひとりの名前が刻まれたメダルを学校で渡し、そのときに撮影した写真を横断幕に入れていただきました。ぜひ、子どもたちの笑顔をそばにご覧ください。

また、14日には平戸市表彰を平戸文化センターで受ける予定となっています。さらに、長崎県の文化・スポーツ表彰も受けることが決まりました。

ましたので、賞状が届き次第、学校にて子どもたちに伝達したいと思います。多くの方々にご支援、応援いただいたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。